



令和6年度第1回湘南西部地区保健医療福祉推進会議
資料6

湘南西部地区における2025プランの変更状況

平塚保健福祉事務所

1 湘南西部地区における病院からの報告結果とその態様

報告結果 計7件

A **特段の協議を必要としない変更**（変更済のものを含む） 7件

例：急性期→回復期、診療科の追加・廃止、回復期⇔慢性期、稼働病床の増減、協議済み案件の修正漏れ、精神科単科病院の新規提出

B **協議が必要な変更で、今後、変更を予定するもの** 0件

例：回復期→急性期、急性期⇔高度急性期、特定の診療科（小児・周産期等）の廃止

C **協議が必要な変更であるが、既に変更済のもの** 0件

例：回復期→急性期、急性期⇔高度急性期、特定の診療科（小児・周産期等）の廃止

態様

- Aは、本来事前調整を行うべきであるが、**実質的な支障は少ない。**
- Bは、今後協議を行う必要があるが、**案件により、その暇がないものも含まれる。**
- Cは、本来協議すべきものであり、**取扱いについて整理が必要**

※ 湘南西部地区で今回提出のあった病院7件の態様は全てAに該当

2 提出のあった病院からの主な変更点

1 平塚十全病院

【稼働病床数の変更】（病床機能：慢性期）

- 一般病床45床から57床に増加（休棟していた障害者病棟12床の運用再開）
- 療養病床を56床休床（良質な医療を提供するため、医療資源の集中を図り、引き続き地域医療に貢献していくため。）

2 湘南平塚病院

【診療科目の変更】

- 形成外科を皮膚科に変更（令和2年4月に形成外科を皮膚科に変更したが、計画への反映を失念していたもの。）

3 湘南大磯病院

【稼働病床数の変更】（病床機能：急性期）

- 一般病床102床から144床に増加
（事業承継（R5.3.1）から2年後までに312床稼働予定）

2 提出のあった病院からの主な変更点

4 国立病院機構神奈川病院

【稼働病床数の変更】（病床機能：急性期）

- 令和5年4月より1病棟（一般病床50床）休床中

5 秦野赤十字病院

【許可病床数の変更】（病床機能：急性期）

- 一般病床320床から308床に12床減

6 鶴巻温泉病院

【許可病床数・稼働病床数の変更】（病床機能：回復期）

- 回復期245床から239床に6床減（コロナ禍で感染対策目的に仮設運用していた3部屋（4人床→2人床）を本年4月より、正式に6床返還し運用）

7 みくるべ病院

【精神科病院の新規提出】

- 許可病床数276床（病床種別：精神）